PTアクションと丸亀市の取組みの状況①

SASAKAWA SPORTS FOUNDATION

こども PTアクション	主体	丸亀市の役割	丸亀市（子育て支援課）の進行状況
①こども意見ポスト	丸亀市	・こども意見ポストの設置および回答	・「未来サポーター」により、**2026年11月からのこども会議で実施予定**
②こども会議	丸亀市	・開催およびサポート ・こどもの意見を企画や市の施策に反映	・「未来サポーター」により、 ●2026年9月6日（日）の新丸亀市児童館オープニングイベント実施に向け、同年6月から月2回、「未来クリエイターズ（こども）」と企画運営会議を実施した。**イベント当日の来場者約400名** ●2026年9月以降（新児童館オープニングイベント終了後）は、新丸亀市児童館やシアターマドのロビー等で開催予定。 **11月より隔週土曜日で開催予定。10月から募集開始**
③こどものやりたいことをカタチにするプロジェクト	丸亀市＋SSF	・新児童館オープニングイベント ・こどもの意見を企画や市の施策に反映（再掲）	・②に同じ。 ＊イベント内容により、こどもPTへ意見・協力を求めたい。
④こどもの権利コンテスト	丸亀市	・企画運営および周知	・2026年度下旬に実施予定。**実施困難な場合は2027年度に実施**
⑤こどもの権利の学びプログラム（スポーツ×こどもの権利）	丸亀市＋SSF	・こども向けワークショップの開催 ・保護者や地域団体向け講座および啓発 ・地域イベントでの権利学習ブース設置	・ワークショップ、講座及び啓発は「未来サポーター」により2026年度中に実施。 **→11月より市民会館、丸亀市児童館で毎週水曜日、隔週土曜日でこどもの居場所＋こどもの権利に関するワークショップを行う予定** ・地域イベントでの権利学習ブースの設置は、**2026年8月29日のボールパークフェスタで実施。こどもの権利クイズを行い、簡単なスポーツ体験を行った** **→来年以降は内容の再検討を行い、スポーツとこどもの権利との結びつきを強めたブースを設置予定**
⑥こども支援ネットワークの確立	丸亀市	・ネットワーク会議や研修会を定期的に開催	・2026年度中に実施予定（年1回以上）。**→2027年1月下旬から2月上旬で実施予定。** **丸亀市社協と連携し、こどもの権利の講師を招いた講義と居場所間での情報共有**

PTアクションと丸亀市の取組み状況②

こども PTアクション	主体	丸亀市の役割	丸亀市（子育て支援課）の進行状況
⑦探求プログラム	児童館	※児童館事業として実施	
⑧こどもオープンラウンジ	丸亀市	・企画運営、関係団体調整、周知	・「未来サポーター」により2026年度中に実施。 **→こどもPTメンバーや他団体で講師をしてくれる方を募集**
⑨こどもアドボカシー人材育成プログラム	丸亀市 ＋SSF	・ネットワーク会議や研修会を定期的に開催（再掲）	・⑥に同じ。
⑩こどもの活動のサポート、こどもの権利を守る人材配置	丸亀市	・「こどもライツ・アクション事業」および「こどもの居場所プロジェクト事業」において未来サポーター配置	【未来サポーター2名配置（市会計年度任用職員）】 ・こどもライツ・アクション事業：2026年5月1日より1名雇用。 ・こどもの居場所プロジェクト事業：2026年6月1日より1名雇用。
⑪こどもの権利などの情報発信	丸亀市	・パンフレット、広報誌や SNS等による情報発信	・「未来サポーター」を中心に2026年度中に実施。 **→日本ユニセフ協会へ協力依頼行い、チラシ500部の提供** **2026年8月29日のボールパークフェスタにおいて来場者へ「子どもの権利条約」のチラシを配布** **2027年2月23日開催の子育てフェスタ（さぬきっず主催）においても配布予定**

PTアクションの実施取組み状況③

SASAKAWA SPORTS FOUNDATION

②こども会議　③こどものやりたいことをかたちにするプロジェクトの実施状況詳細

イベント名	～新丸亀市児童館オープニングイベント～ シアターマドフェスティバル
日時	2026年9月6日(日)11:30～14:45
場所	丸亀市民会館1階　マルチスペースA・B
参加者	どなたでも参加可能
来場者数	約400名
実施者	未来クリエイターズ19名 (丸亀市内在住の小学生～中学生のこども／事前募集)
内容	• 未来クリエイターズから出た様々なアイデアを各ブース(屋台)に詰め込んだ、こどもから大人まで幅広い年齢の方が楽しめるイベント • こどもたちが、5つのチーム「広報・記者チーム」「デザインチーム」「うちわワークショップチーム」「クイズビンゴチーム「寄せ書きアートチーム」に分かれて、イベントの準備・進行 【ブース】 ・うちわワークショップ ・クイズビンゴ ・寄せ書きアート
報道	・四国新聞 ・中讃テレビ　等

PTアクションの実施取組み状況③（画像）



多くのお客様や報道関係者の参加が
あったオープニングセレモニーの様子



こどもたちの代表2名が市長・議長と
一緒にテープカット
胸に付けている花はこどもたちの手作り



市長・議長・こどもたち全員で記念撮影
ピンクのバンダナをこどもたち全員が着用



オープニングセレモニー後、こどもたちが市
長・議長にイベント会場を案内



受付でデザインチームが書いた会場マップと
ビンゴ用紙を配布



寄せ書きアート受付

PTアクションの実施取組み状況③（画像）



クイズビンゴのポイント　2階の児童館前



常に盛況だったうちわワークショップ



お客様インタビュー担当の広報・記者チーム



こどもたちが書いた大きな虹色もみじが
印象的な寄せ書きアート

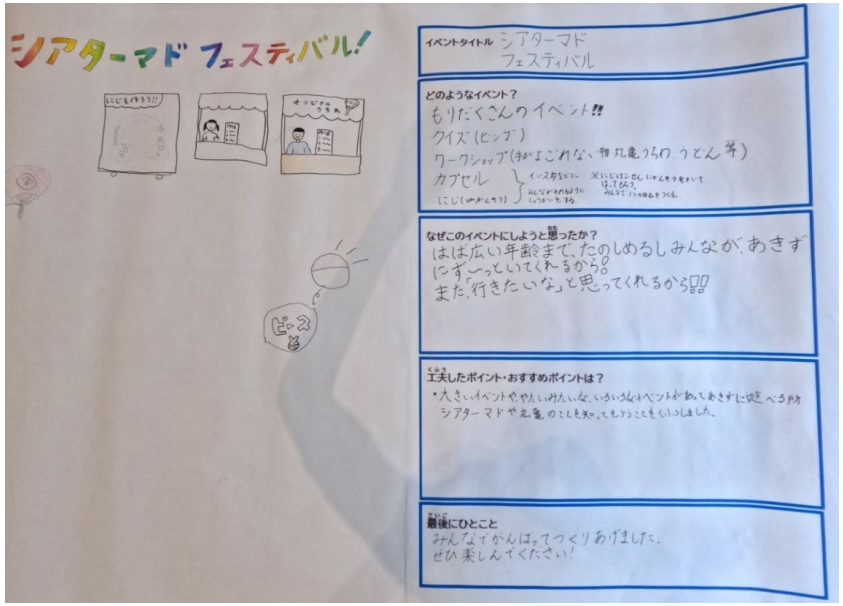


こどもたちが心を込めて作った手作りのお
花はクイズビンゴの景品に



最後に記念撮影

PTアクションの実施取組み状況③（画像）



第2回目の活動日に全員でアイデアを出し合い考えたイベントが形となった





チラシはイラストをデザインチームが担当
宣伝文を広報・記者チームが担当した

うちわワークショップの裏面のイラストは
うちわチームが担当した